

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94700 市内遺跡発掘調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財を保護し次代に伝える。 県指定史跡の国指定への格上げ 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業により影響を受ける埋蔵文化財を記録保存する。 保存活用に必要な遺跡の内容を確認する。 国指定に向けた調査の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.8%	70.5%	↗
国・県指定・登録文化財の件数	177件	178件	190件

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		8,690	7,567	5,520	5,520	4,736	△ 2,831
特定財源	国費 (埋蔵文化財発掘調査事業費1/2)	4,330	3,819	2,760	2,760	2,268	△ 1,551
	県費 ()						
	その他(寄附金)	3,058	3,058				△ 3,058
一般財源		1,302	690	2,760	2,760	2,468	1,778
個票枝番	主な事業内容						
	試掘・範囲確認調査、整理	1,030	738	1,520	1,520	1,155	417
	松倉城跡・広瀬城跡等の国指定に向けての調査	7,570	6,790	4,000	4,000	3,581	△ 3,209

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算	実施計画額	3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,300	5,280	5,280	△ 240	
2,650	2,640	2,640	△ 120	
2,650	2,640	2,640	△ 120	
査定額	説明			
1,910				
3,370				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 三仏寺城跡、中山遺跡等の試掘等確認調査の実施 松倉城跡の測量等確認調査の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。 松倉城跡の国指定に向けた確認調査を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 開発に対応するため、継続して事業を実施する。 松倉城跡等の国指定に向けた取り組みを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 杉ヶ平遺跡、古館遺跡等の試掘等確認調査の実施 松倉城跡の測量等確認調査の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。 松倉城跡の国指定に向けた確認調査を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 開発に対応するため、継続して事業を実施する。 松倉城跡等の国指定に向けた取り組みを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業などに対応するための緊急目的の発掘調査に必要な経費を計上 調査指導委員会の指導等による松倉城跡の調査に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94710 歴史資料購入事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土に関わる歴史資料の流失、散逸を防ぐとともに、市民の郷土学習に役立てる。	概要	・郷土に関わる歴史資料を購入する。
----	--	----	-------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.8%	70.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	1,000	795	26,910	26,910	24,000	23,205	
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源	1,000	795	26,910	26,910	24,000	23,205	
個票枝番	主な事業内容						
	歴史資料等の購入	1,000	795	1,000	1,000	888	93
	こう峠口古墳周辺土地の取得			25,200	25,200	22,505	22,505
	測量等委託			710	710	607	607

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,000	1,000	1,000	△ 25,910	
1,000	1,000	1,000	△ 25,910	
査定額	説明			
1,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 3件 流出、散逸を防いだ件数 3件
評価等	・郷土に係る貴重な資料の流出、散逸が防がれ、公有化により展示公開や研究等への活用がなされた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に郷土の歴史資料の購入を進める。 飛騨高山まちの博物館などの教育施設での展示を通じて、市民への公開を実施する。 学校などへ、資料の活用に向けた情報提供を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 4件 流出、散逸を防いだ件数 4件 ・土地の公有化 こう峠口古墳周辺土地の買戻し及び取得 2件
評価等	・郷土に係る貴重な資料の流出、散逸が防がれ、公有化により展示公開や研究等への活用がなされた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に郷土の歴史資料の購入を進める。 飛騨高山まちの博物館などの教育施設での展示を通じて、市民への公開を実施する。 学校などへ、資料の活用に向けた情報提供を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・郷土の歴史資料の購入に必要な経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94720 文化財保護事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画 教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域で文化財を保存活用する活動を支援し、文化財の保存を図る。 文化財保護行政の円滑な執行 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保存団体に対する助成 史跡や伝承芸能の保存団体の運営・活動に対する助成 文化財関係の協議会等への参加
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.8%	70.5%	↗
国・県指定・登録文化財の件数	177件	178件	190件

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		14,175	13,371	14,304	14,304	13,426	55
特定財源	国費()						
	県費(無形文化遺産伝承事業費1/2、県移譲事務交付金)	1,123	1,198	1,198	1,198	1,141	△ 57
	その他(寄附金)	12,172	12,172				△ 12,172
一般財源		880	1	13,106	13,106	12,285	12,284
個票枝番	主な事業内容						
	文化財保護団体の保存活動に対する助成	10,612	10,461	10,771	10,771	10,366	△ 95
	無形文化遺産伝承事業補助金	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		12,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
14,527	14,385	14,385	81	
1,198	1,141	1,141	△ 57	
13,329	13,244	13,244	138	
査定額	説明			
10,852				
2,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 補助件数 60件 伝統的建造物群保存地区保存会 11団体 高山祭屋台管理 1団体 からくり屋台管理技術伝承保存 1団体 高山祭屋台保存技術後継者育成 1団体 高山祭屋台保存修理技術研修事業・修得 2社、2名 伝承芸能保存団体 18団体 市指定文化財管理 2団体 史跡保存団体 13団体 国指定文化財管理 8団体 無形文化遺産保存団体 1団体
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 補助件数 60件 伝統的建造物群保存地区保存会 10団体 高山祭屋台管理 1団体 からくり屋台管理技術伝承保存 1団体 高山祭屋台保存技術後継者育成 1団体 高山祭屋台保存修理技術研修事業・修得 2社、2名 伝承芸能保存団体 16団体 無形文化財・無形民俗文化財保存団体 5団体 史跡保存団体 13団体 国指定文化財管理 8団体 無形文化遺産保存団体 1団体
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化継承への支援に必要な経費を計上 伝承芸能保存団体等に対する助成に必要な経費を計上 高山祭屋台の保存技術研修に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94725 指定文化財保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国・県・市指定文化財を保護し次代に伝える。	概要	・指定文化財の保存修理に対する助成
----	------------------------	----	-------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.8%	70.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,140	2,200	9,900	9,900	9,549	7,349
特定財源	国費(国指定文化財修理事業費1/2)	1,100	1,100	1,200	1,200	1,144	44
	県費(県指定文化財修理事業費2/3)			520	520	518	518
	その他(寄附金)	1,100	1,100				△ 1,100
一般財源		940	0	8,180	8,180	7,887	7,887
個票枝番	主な事業内容						
	指定文化財の保存修理に対する助成等						
	市指定文化財の保存修理	940	0	6,720	6,720	6,484	6,484
	国指定文化財の保存修理	2,200	2,200	2,400	2,400	2,288	88
	県指定文化財の保存修理			780	780	777	777

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
16,069	10,200	10,200	300	
1,431	1,500	1,500	300	
8,094	4,100	4,100	3,580	
6,544	4,600	4,600	△ 3,580	
査定額	説明			
1,050				
3,000				
6,150				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・国指定天然記念物臥竜のサクラの保護工事の実施
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する。

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定天然記念物臥竜のサクラの保護工事の実施 ・市指定天然記念物小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群の保護工事の実施 ・保存修理に対する助成 ・市指定文化財 恵林寺のイチョウ・コウヤマキ、東照宮の歴史遺構 ・県指定文化財 枝垂れザクラ
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する。

担当課 予算要求 ポイント	・指定文化財の保存修理に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94750 伝統的建造物群保存地区保存事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区内における伝統的な町並みを維持する。	概要	・伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する助成等
----	-------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.8%	70.5%	↗
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	72.6%	75.2%	90%

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		30,600	19,934	24,600	24,800	21,979	2,045
特定財源	国費(伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	15,000	9,721	12,050	12,050	10,651	930
	県費()						
	その他(寄附金、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	10,073	10,073	8,000	8,000	11,000	927
一般財源		5,527	140	4,550	4,750	328	188
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区修理修景に対する助成	30,000	19,393	24,000	24,000	21,206	1,813

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
40,600	33,600	33,600	9,000	
20,050	16,550	16,550	4,500	
			△ 8,000	
20,550	17,050	17,050	12,500	
査定額	説明			
33,000	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・修理、修景に対する助成 4件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
	・保存計画に基づき、今後も継続実施する。

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・修理修景に対する助成 5件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
	・保存計画に基づき、今後も継続実施する。

担当課 予算要求 ポイント	・伝統的な町並みの保存の推進に必要な経費を計上 ・伝統的建造物群保存地区修理修景事業に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94755 伝統的建造物群保存地区防災対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区を災害に強い町並みとするために、伝建地区内の防火帯としての土蔵の整備や防災設備の整備を継続して実施し、防災能力の向上を図る。	概要	・伝建地区内の防火帯としての土蔵等の整備事業に対する補助 ・防災設備等の整備
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.8%	70.5%	↗
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	72.6%	75.2%	90%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	148,890	102,966	49,880	93,104	80,087	△ 22,879	
特定財源							
国費 (伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	74,100	62,852	24,740	24,740	28,382	△ 34,470	
県費 ()							
その他(寄附金、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	40,113	40,113	15,000	15,000	22,000	△ 18,113	
一般財源	34,677	1	10,140	53,364	29,705	29,704	
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区防災対策(土蔵整備)に対する助成	30,000	27,458	25,000	25,000	22,836	△ 4,622
	高山市政記念館耐震補強工事	118,550	75,324	24,700	67,924	57,126	△ 18,198

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
28,489	27,470	27,470	△ 22,410	
13,550	13,000	13,000	△ 11,740	
				△ 15,000
14,939	14,470	14,470	4,330	
査定額	説明			
26,000	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・土蔵等整備事業への補助 5件 ・高山市政記念館耐震補強工事及び監理
評価等	・保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に防災整備を行った。 ・高山市政記念館の耐震補強工事を実施し、歴史的建造物の耐震化による保存を進めることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・土蔵等整備事業への補助 6件 ・高山市政記念館耐震補強工事及び監理
評価等	・保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に防災整備を行った。 ・高山市政記念館の耐震補強工事を実施し、歴史的建造物の耐震化による保存を進めることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

担当課 予算要求 ポイント	・防火帯としての土蔵等整備に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94757 伝統的建造物群保存地区拡大事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		教育振興基本計画			
			目	7	文化財費		根拠計画			
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優れた歴史的な町並みを後世に残すとともに、市民による地域の歴史遺産に対する誇りと愛着を高める。また、国の支援を得て保存整備と活用を図る。	概要	・伝統的建造物群保存地区の拡大に向けた町並み保存対策調査の実施 ・国への選定申出に必要な手続き
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
保存対策調査、選定	調査実施	調査実施	伝建選定

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	3,100	1,109	3,100	3,100	50	△ 1,059	
特定財源							
国費 (伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	1,500	554	1,550	1,550	0	△ 554	
県費 ()							
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	1,000	400	1,000	1,000	0	△ 400	
一般財源	600	155	550	550	50	△ 105	
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	伝統的建造物群保存地区拡大調査・選定手続き	3,100	1,109	3,100	3,100	50	△ 1,059

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
100	100	100	△ 3,000	
			△ 1,550	
			△ 1,000	
100	100	100	△ 450	
査定額	説明			
100				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・寺町空町町並み保存対策調査の実施 [新型コロナウイルス感染症の影響により調査の一部を翌年度に延期]
評価等	・町並みの外観目視調査と寺社の実測調査を中心に行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた調査等が実施できなかったため、文化庁と協議の上で事業期間を延長する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・令和4年度の報告書刊行に向けて調査を進める。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input checked="" type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・寺町空町町並み保存対策調査の実施 [新型コロナウイルス感染症の影響により調査の一部を翌年度に延期]
評価等	・町家及び寺社の実測調査、環境物件の調査を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた調査等の一部が実施できず、報告書の作成・刊行を翌年度に繰り越すこととなった。 ・調査対象地域の特性やこれまでの調査成果、今後の見通しなどを広報で特集し、市民などへの普及啓発を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	・令和5年度刊行予定の報告書をもとに、地元住民や市民向けの調査成果の報告会を開催し、町並み保存への理解を深める。 ・国の選定に係る必要な手続きについて、文化庁等関係機関との調整を進める。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・伝統的建造物群保存地区の新規選定に向けた手続きに必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	94757 伝統的建造物群保存地区拡大事業費	区分	<input type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
枝番・内容	1 伝統的建造物群保存地区拡大調査		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	9	教育費		
		<input checked="" type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	社会教育費	内線	2354	
		<input type="checkbox"/>		目		7	文化財費	作成年月	R5.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・優れた歴史的な町並みを後世に残すとともに、市民による地域の伝統文化に対する誇りと愛着を高める。また、国の支援を得て保存整備と活用を図る。	概要	・伝統的建造物群保存地区の拡大に向けた町並み保存対策調査の実施 ・国への選定申請に必要な手続き
----	---	----	--

【参考】R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	3,100
	繰越	0
	補正等	0
	最終	3,100
決算額		1,109
対前年度増減額(決算)		△ 586

【参考】R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	3,100
主な経費	・町並み保存対策調査	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	3,100
	繰越	0
	補正等	0
	最終	3,100
決算額		50
対前年度増減額(決算)		△ 1,059

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	100
主な経費	・伝統的建造物群保存地区の新規選定に向けた手続き等に必要費用	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・寺町空町町並み保存対策調査の実施(現地調査3回) ・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた調査や地元説明会の実施が困難となった。 	
[評価等]	
<ul style="list-style-type: none"> ・町並みの外観目視調査と寺社の実測調査を中心に行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の計画どおりに事業実施ができなかったため、文化庁と協議の上で事業期間を延長する必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input checked="" type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> ・内容 大学等研究機関に委託し、町並み保存対策調査を実施する。その結果を踏まえ、対象地域の中から保存地区を決定するとともに、報告書を刊行する。 ・対象地域 高山市大門町、桜町、下一之町、鉄砲町、若達町、愛宕町、天性寺町、宗猷寺町、吹屋町、堀端町、馬場町 他 	
[スケジュール]	
<ul style="list-style-type: none"> ・通年 調査、地元向けの調査結果説明会の実施 ・R5.3 報告書刊行 	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・寺町空町町並み保存対策調査の実施(現地調査7回) ・新型コロナウイルス感染症の影響による調査の遅れで、報告書の刊行と地元説明会の開催を行うことができなかった。 ・調査対象地域の特性やこれまでの調査成果、今後の見通しなどを広報で特集し、市民などに報告することができた。 	
[評価等]	
<ul style="list-style-type: none"> ・町家と寺社の実測調査、環境物件調査を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初予定していた調査を計画どおりに進めることができなかった。 ・地域住民や市民を対象とした報告会は開催できなかったが、広報誌を活用し調査成果の公表を行った。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書を刊行するとともに、調査成果をもとに地元や市民向けに報告会、説明会等を実施する。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input checked="" type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> ・内容 大学等研究機関に委託し、町並み保存対策調査を実施する。その結果を踏まえ、対象地域の中から保存地区を決定するとともに、報告書を刊行する。 ・伝統的建造物群保存地区の選定に向け、地元説明会や選定申請に必要な手続きの準備、調整を進める。 ・対象地域 高山市大門町、桜町、下一之町、鉄砲町、若達町、愛宕町、天性寺町、宗猷寺町、吹屋町、堀端町、馬場町 他 	
[スケジュール]	
<ul style="list-style-type: none"> ・通年 調査、地元向けの調査結果説明会の実施 ・R5.8 報告書刊行 	

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化遺産の活用や歴史街道の整備等により、郷土の歴史や文化を次代に伝える。 文化財指定されていない文化遺産や郷土の歴史文化などの保存、継承を支援するための制度を創設する。 記念物を良好な状態で保存管理するための環境を整備する。 美しいふるさと認証制度による郷土愛の醸成や保護活動を促進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 歴史街道の調査・整備を行う。 伝統的建造物及びその周辺環境や無形文化遺産の調査、記録を行う。 文化財標柱・説明看板等を整備する。 美しいふるさと認証団体を募集し認証する。 文化財保存活用地域計画の策定 金森長近マンガの製作と活用
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.8%	70.5%	↗
美しいふるさとの認証団体数(累計)	138団体	138団体	160団体
国・県指定・登録文化財の件数	177件	178件	190件

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3		R4				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	5,130	3,145	4,920	4,920	3,903	758	
特定財源							
国費(地域文化財総合活用推進事業費 10/10)							
県費(日本遺産サイクルラリー事業費)			0	0	330	330	
その他(歴史遺産等活用事業雑入等)	3,145	3,145				△ 3,145	
一般財源	1,985	0	4,920	4,920	3,573	3,573	
個票枝番	主な事業内容						
	歴史講座の開講	290	110	290	290	140	30
	歴史遺産、伝統文化保存活用事業	3,840	3,036	1,590	1,590	1,189	△ 1,847
◎ 1	文化財保存活用地域計画の作成			2,000	2,000	1,650	1,650
◎ 2	日本遺産の活用			1,040	1,040	924	924
	金森長近マンガ製作・活用						
	ふるさと伝承記録制作	1,000	0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
13,919	10,180	8,930	4,010
2,987	3,000	3,000	3,000
3,000	3,000	3,000	3,000
7,932	4,180	2,930	△ 1,990
査定額	説明		
290			
2,425			
3,000			
215			
3,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 美しいふるさと認証 2団体 天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群) 文化財説明看板等製作 2箇所 「語り部養成講座」を3回(6講座)開講(延べ118名参加) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を行う。 整備した歴史街道の活用を図る。 日本遺産の活用を推進する。 市指定文化財の国指定に向けた手続きを進める。 歴史講座を通じて、市民の歴史文化に対する理解を醸成する。 	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群) 文化財説明看板等製作 3箇所 「語り部養成講座」を4回(7講座)開講(延べ200名参加) 天然記念物の実態調査を実施 日本遺産サイクルラリーの実施 「洲さき」の国重要文化財指定 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を行う。 整備した歴史街道の活用を図る。 日本遺産の活用を推進する。 歴史講座を通じて、市民の歴史文化に対する理解を醸成する。 	

担当課	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化や文化財の調査・記録による保存・継承と活用に必要な経費を計上 文化財保存活用地域計画の策定に向けて必要な経費を計上 金森長近を題材としたマンガの製作及び活用に必要な経費を計上
財務部査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 日本遺産の活用等に必要な経費を精査

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
			<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	9	教育費		
枝番・内容	1 文化財保存活用地域計画の作成	<input type="checkbox"/> その他重要事業	<input type="checkbox"/>	項		4	社会教育費	内線	2354	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	目		7	文化財費	作成年月	R5.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・社会環境の変化や価値観の多様化などにより文化財を取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、文化財のより適切な保存・活用を計画的、継続的に推進することを目的に「文化財保存活用地域計画」の策定を目指す。	概要	・事前把握 ・文化財実態調査 ・文化財保存活用地域計画作成 ・説明会等の開催
----	--	----	---

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	0
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	2,000
主な経費	・記念物実態調査委託	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	2,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	2,000
決算額		1,650
対前年度増減額(決算)		1,650

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	3,000
主な経費	・調査委託 ・委員謝礼 ・委員旅費	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・記念物(史跡・名勝・天然記念物)の実態調査
[スケジュール]	・R4 文化財実態調査 ・R5 文化財保存活用地域計画策定協議会設置、住民ワークショップの実施、文化財審議会意見聴取 ・R6 策定、文化庁協議・認定申請 ・R7 文化庁認定

事業実績、評価等	
[事業実績]	・天然記念物の実態調査の実施 ・調査結果を取りまとめた台帳の作成
[評価等]	・文化財指定された天然記念物の現状を調査し、文化財保存活用地域計画を作成するための基礎資料を得ることができた。 ・天然記念物の状態を記載した記念物カルテを作成し、今後の保存管理に活用していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・文化財保存活用地域計画の策定に向けて、庁内関係課及び県・文化庁との調整 ・地域計画策定協議会の設置、策定にあたっての協議 ・住民ワークショップの実施 ・文化財審議会への意見聴取 ・文化財把握調査、成果の整理の実施、リスト化・データベース化
[スケジュール]	・R5 文化財保存活用地域計画策定協議会設置、住民ワークショップの実施、文化財審議会意見聴取 ・R6 策定、文化庁協議・認定申請 ・R7 文化庁認定

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
枝番・内容	2 日本遺産の活用		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	社会教育費	内線	2354	
		<input type="checkbox"/>		目		7	文化財費	作成年月	R5.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・日本遺産の普及啓発並びにインナーブランディングの向上を図る。	概要	・日本遺産の構成文化財を自転車で巡る ・案内看板の設置、コースマップの作成 ・事業の周知
----	---------------------------------	----	--

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	0
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	840
主な経費	・日本遺産サイクルラリーコースマップ作成 ・日本遺産サイクルラリーコース看板製作	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	840
	繰越	0
	補正等	0
	最終	840
決算額		514
対前年度増減額(決算)		514

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産の構成文化財を巡るコースの設定 ・コース案内看板の整備 ・コースマップの作成 ・広報、インターネット等を活用した周知
[スケジュール]	5月 コース設定 5月～8月 案内看板設置、コースマップ作成 8月 周知 9月～ 供用開始
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・国府地域で日本遺産構成文化財が集中する荒城川沿いの地域を対象とした自転車向け周遊コースの整備を行った。 ・コースマップを作成し令和4年10月15日より供用を開始した。
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産の普及啓発が図られ、インナーブランディングの向上につながった。 ・文化財に親しみきっかけづくりとなり、観光客等の周遊にもつながることが期待できる。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域での展開を検討する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産の構成文化財を巡るコースの検討 ・地元団体、民間事業者等との連携
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> ・R5 コース検討 ・R6 コース整備、供用開始
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94770 高山祭屋台保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。	概要	・高山祭屋台及び屋台蔵について、緊急に修理が必要なものから順次修理を行う。
----	--	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され。郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.8%	70.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		39,850	36,633	38,970	38,970	37,597	964
特定財源	国費(高山祭屋台等保存修理事業費1/2)	19,900	18,316	19,400	19,400	18,782	466
	県費(高山祭屋台等保存修理事業費1/4)	1,500	1,500	1,500	1,500	2,137	637
	その他(高山祭屋台等保存修理事業費寄附金等)	18,256	14,356	13,800	13,800	13,755	△ 601
一般財源		194	2,461	4,270	4,270	2,923	462
個票枝番	主な事業内容						
	高山祭屋台・屋台蔵の修理	39,850	36,633	38,970	38,970	37,597	964

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
39,674	40,060	40,060	1,090	
19,805	20,000	20,000	600	
1,500	1,500	1,500	0	
3,961	4,000	4,000	△ 9,800	
14,408	14,560	14,560	10,290	
査定額	説明			
40,060				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・宝珠台、神馬台、崑崗台、仙人台 修理 ・豊明台屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。 ・設計施工一体型への移行など発注方式の見直しを進める。

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・仙人台、恵比須台 修理 ・恵比須台屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。 ・設計施工一体型への移行など発注方式の見直しを進める。

担当課 予算要求 ポイント	・国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台及び屋台蔵の計画的な保存修理の実施に必要な経費を計上 ・屋台修理技術の継承に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94800 飛騨高山まちの博物館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	8	文化財施設費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図る。 観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 城下町高山を中心とした歴史文化について、資料収集や調査研究、展示、教育普及などの活動を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.8%	70.5%	↗
飛騨高山まちの博物館の来館者数(年間)	101,283人	157,747人	232,000人
飛騨高山まちの博物館の公開可能な歴史資料の件数	24,134件	25,372件	27,532件

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		20,125	17,489	18,565	21,525	18,473	984
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(文化財施設使用料等)	40	33	541	541	619	586
一般財源		20,085	17,456	18,024	20,984	17,854	398
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山まちの博物館の管理運営・特別展の開催	20,125	17,489	18,565	21,525	18,473	984

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		20,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
22,572	22,105	22,105	3,540	
91	91	91	△ 450	
22,481	22,014	22,014	3,990	
査定額	説明			
22,105				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 特別展を開催 4回 歴史講座等を開催 8回 施設利用者数 来館者数 101,283人 研修室利用者数 3,482人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料である陣屋文書や町会所文書を計画的に公開し、歴史研究への活用を図った。 様々なテーマの特別展を開催し、郷土の歴史に対する理解を深めた。 信仰、美術展示室の常設展のリニューアルを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 特別展を開催 4回 歴史講座等を開催 14回 施設利用者数 来館者数 157,747人 研修室利用者数 4,699人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料である陣屋文書や町会所文書を計画的に公開し、歴史研究への活用を図った。 様々なテーマの特別展を開催し、郷土の歴史に対する理解を深めた。 城下町高山の展示室及び美術展示室の常設展のリニューアルを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史資料の適正な保存活用のために必要な経費を計上 計画的に常設展のリニューアルを行うために必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94810 文化財施設管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	8	文化財施設費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史に対して、興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える。 収蔵施設での文化財や歴史資料等の適正な保存・管理 発掘調査等出土品の整理・調査研究や考古学関係の講座・学習会等の開催により、郷土の歴史に対する理解を深める。 市有文化財施設等の安全・安心な利用を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理による文化財施設の運営 文化財収蔵施設等の維持管理 風土記の丘学習センター等の管理運営
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.8%	70.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		52,731	47,633	65,805	67,395	60,623	12,990
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(敷地占用料、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	194	272	10,323	10,323	13,343	13,071
一般財源		52,537	47,361	55,482	57,072	47,280	△ 81
個票枝番	主な事業内容						
	文化財施設の管理	52,731	47,633	51,805	53,395	47,060	△ 573
	施設整備			14,000	14,000	13,563	13,563
	民具資料の整理調査						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		53,000	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
59,175	61,435	61,435	△ 4,370				
273	273	273	△ 10,050				
58,902	61,162	61,162	5,680				
査定額	説明						
54,435							
6,000							
1,000							

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理7施設入館者数 30,307人 風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座の開催 参加者 土器づくり講座 22人 勾玉づくり講座 33人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 公開施設を指定管理に委託し、効率的な管理・運営を行った。 市政記念館は耐震補強工事のため年度途中から閉館となり、入館者が減少した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能強化や展示等の充実を図り、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理7施設入館者数 18,526人 風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座の開催 参加者 土器づくり講座 80人 勾玉づくり講座 98人 高山市政記念館の展示リニューアル 風土記の丘史跡公園復元住居の葺替工事を実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 公開施設を指定管理に委託し、効率的な管理・運営を行った。 高山市政記念館の耐震補強工事に伴い、展示をリニューアルし内容の充実を図った。 風土記の丘史跡公園復元住居の葺替工事の体験見学会を開催した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能強化や展示等の充実を図り、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理施設をはじめ、文化財施設の管理運営に必要な経費を計上 風土記の丘学習センターの活用の充実に必要な経費を計上 民具資料の適切な収蔵や活用のために必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和4年度決算)

事業名	94830 飛騨高山まちの体験交流館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	8	文化財施設費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2959							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・体験型の施設として運営することにより、「学び」を主体とする飛騨高山まちの博物館と一体的な機能を発揮し、伝統文化伝承の拠点として歴史的風致の維持及び向上を目指す。	概要	・伝統的工芸品などの実演、体験、展示並びに文化体験等の実施 ・交流広場の提供による特産品PRイベントやまちなか活性化イベント等の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.8%	70.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		20,160	19,424	27,920	28,130	26,901	7,477
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(文化財施設使用料)	440	131				△ 131
一般財源		19,720	19,293	27,920	28,130	26,901	7,608
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山まちの体験交流館の管理運営	20,160	19,424	27,920	28,130	26,901	7,477

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		27,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
27,202	27,840	27,840	△ 80	
27,202	27,840	27,840	△ 80	
査定額	説明			
27,840				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数 来館者数 86,243人 研修室利用者数 525人 交流広場利用者数 15,248人 実演、体験実績 6,803人 交流広場イベント 15件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 伝統産業や市指定無形民俗文化財の有道しゃくしなどの伝統文化の実演・体験を実施し、伝統文化の振興を図った。 教育旅行等に対する飛騨高山まちの博物館との一体的な活用を進めた。 次の世代を担う高校生や大学生が主体となったイベントを開催し、多くの世代が交流する場となった。 令和4年度より民間のノウハウを活かした指定管理施設として運営する。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携して、伝統文化の体験の場としての利活用や交流広場における様々なイベントでの利用を促進する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数 来館者数 245,847人 研修室利用者数 1,091人 交流広場利用者数 59,204人 実演、体験実績 8,982人 交流広場イベント 16件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 伝統産業や市指定無形民俗文化財の有道しゃくしなどの伝統文化の実演・体験を実施し、伝統文化の振興を図った。 教育旅行等に対する飛騨高山まちの博物館との一体的な活用を進めた。 民間のノウハウを活かした指定管理施設として運営することにより、施設利用者数が増加した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携して、伝統文化の体験の場としての利活用や交流広場における様々なイベントでの利用を促進する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山まちの体験交流館の指定管理による運営に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに